



天理大(左)は後半の追い上げも及ばず惜敗。来季はCリーグ(12日、京都・吉祥院運動公園で)

名門・天理大ラグビー部

復活まで道のり遠く

「しかない」とくちびるを
グッとくみ締めた。

しかない」とくちびるを
グッとくみ締めた。

天理大にとつてはBリ
ーグ上位の摂南大、大阪
市立大から白星を挙げた
にもかかわらず、下位チ
ームに對して取りこぼし
たのが響いた。現在部員
数は三十三人で慢性的な
部員不足。来年度には高
校日本代表クラスの選手
の入部予定もあり、再起
へ向けて着実な歩みを期
待したい。

たのが響いた。現在部員数は三十三人で慢性的な部員不足。来年度には高校日本代表クラスの選手の入部予定もあり、再起へ向けて着実な歩みを期待したい。

近年不振が続
く名門・天理大
ラグビー部は、
復活への足がか
りがつかめない
まま今シーズン

の全日程を2勝4敗1引き分けの7位で終了。二日、Bリーグ残留をかけて京都大(Cリーグ2位)と入れ替え戦を行つた。

今年から天理高とかけ

を終えた。ちょうど一年前に入
れ替え戦に敗れ、関西大学Aリーグから初めて降
格した天理大は、Bリーグで

序盤から京都大の気迫に押され氣味で、天理大はなかなか相手陣に攻め込めず、6-20で前半終了。後半になってようやくボールがつながり始めたが、逆転するまでには持ちで指導に当たつてい
る田中克己監督は、「選手はこの一年間生まれ変わった気持ちでやつてこられた。私自身の勉強不足もあり、申し訳ない気持ちだ。一から再出発する